



2009-2010年度
 "Future of Rotary is in Your hands"
 RI会長
 ジョン・ケニー



千歳ロータリークラブ会報

2010年2月25日
 第29号 (通算1997号)

CHITOSE ROTARY CLUB

岩崎会長テーマ
「浩然の気」
 -ロータリアンは茄子の花-

会長 岩崎 暉久 副会長 加藤 武仁 幹事 川端 清
 会長エレクト 佐々木金治郎 会計 佐藤 晴一
 第2510地区ガバナー 渡邊 恭久 第7グループ・ガバナー補佐 加藤 寛治

～ 2月 は 世界理解月間 ～



電気自動車に試乗 (2月18日の例会後に)

四つのテスト

～ 思いと言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 (2/25 第35回) : 通常例会 (ゲスト卓話) 「航空会社の顧客サービス」
 全日本空輸株式会社千歳空港支店長 池上正俊様 担当: 会員増強委員会
 ～ANAクラウンプラザホテル千歳～

(3月のプログラム)

4日 (木) 通常例会 担当: ロータリー情報委員会
 11日 (木) 通常例会 担当: ロータリー財団委員会
 18日 (木) 5クラブ合同夜間移動例会 (リアン)
 担当: 新世代・ローターアクト委員会
 25日 (木) 通常例会 (ゲスト卓話)
 「クラブ会報を中心とした経費削減について」
 担当: クラブ会報・広報・雑誌・IC委員会
 《理事会》

(ローターアクト例会)

11日 (木) 定例会 (ホテル日航千歳)
 18日 (木) 5クラブ合同夜間移動例会 (リアン)

(プロバスクラブ例会)

18日 (木) 5クラブ合同例会 (リアン)

出席率 前回: 50.0% (2月18日=29/58、実数)
 確定: 72.4% (1月28日=42/58、うちメーキャップ0名)

2009～2010年度
第34回（通算2101回）例会報告

日時：2010年2月18日 12：30～13：30
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳
プログラム：電気自動車の試乗
担当：国際奉仕委員会

例会の進行

SAA 宮本 伸司



ロータリーソング斉唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト



発 声

クラブ会報・広報・雑誌・
IC委員会
副委員長 大澤 雅松

友情の握手タイム

会長挨拶

会 長 岩崎 暉久



11日が建国記念日のため休会とし、2週間ぶりの例会です。2月も半ばを過ぎ、皆様方には寒さを乗り越えて益々のご活躍と幸いです。さて、2月に入って札幌の雪まつり、終わると同時に雪像が重機で取り壊されました。事故防止の意味が強いと思いますが、観光客からはもったいないとの声が聞かれました。また、テレビのチャンネルはどこもカナダのバンクーバーからの冬季五輪の中継映像です。13日の開会式は、平均視聴率が25.4%だったそうで、改めて関心の高さをうかがうこ

とができました。視聴者の熱い声援は日本代表選手にも届いているでしょう。国母選手の服装について残念なことがありましたが、橋本聖子団長の配慮で大会には出場となりました。

本日は、電気自動車について、国際奉仕委員会の尾崎委員長の卓話と試乗会です。電気自動車の普及は、大気汚染防止につながるものであり、ご静聴願います。

幹事報告

幹 事 川端 清



2月25日は通常例会で会員増強委員会担当です。全日空千歳空港支店長の池上正俊様の卓話がございます。

北広島RCが受け入れるGSEメンバーのダイナックス視察に伴い、ダイナックス視察後に4月8日の当クラブ例会に出席の予定です。

委員会報告

木曜会会長 五十嵐 宏

パークゴルフ1回目のご案内です。夜間の合同移動例会となる3月18日（木）に、正午からフジパークゴルフ場で行います。ご家族も参加できますので、多くの皆さんの参加をお願いします。



佐藤会員から

会員 佐藤 晴一

先日、日本航空専門学校の不法投棄が新聞等で報道されました。会員も皆さんにご心配をお掛けし、申し訳ございませんでした。15年前の投棄のことが取り上げられましたので、私も戸惑ったのですが、9月から全部掘り出しまして、2月5日に指導を受けて一応、決着のめどが立っております。



電気自動車について

国際奉仕委員長 尾崎 伊智朗



自動車の世界で電気自動車が本格的に実用化され、注目を集めています。昨年は三菱自動車から、i-Miev（アイミーブ）が販売され、今年には日産自動車からリーフが発売予定です。トヨタ、ホンダも電気自動車の試作品を昨年のモーターショーで発表しており、2010年は電気自動車が一段と脚光を浴びることが予想されます。北海道電力は昨年8月、アイミーブを全道で7台導入しました。うち1台を札幌から持ってきましたので、皆さんに是非見ていただきたいと思います。その前に、アイミーブの紹介、電気自動車の将来についてお話させていただきます。

アイミーブの特徴

プリウスなどハイブリッド車と違って、100%電気で走る電気自動車です。ガソリンや軽油などの燃料を全く必要とせず、内蔵された電池に充電した電気のみで走ります。電気自動車一般にいえるのですが、走行中は、排気ガスを全く出しません。二酸化炭素も窒素酸化物や硫黄酸化物も出さない、極めてクリーンな車です。当然、普通の車に付いている排気管はこの車にありません。充電方法は3つあります。まず、一般家庭でも簡単に使える100V、200Vの充電です。満タンまで100Vで約14時間、200Vで約7時間かかります。1日乗って、夜の間充電するイメージでしょうか。特殊な設備を使った急速充電は、約30分で80%ほど充電できます。この特別な設備は、北海道電力でも札幌に1カ所設置しているだけです。

他の車との燃費の比較ですが、ガソリン1リットル120円で計算すると3000ccエンジンのクラウンは1km走るのに10.2円分のガソリンが必要です。カローラは6.5円、そして最新のプリウスのカatalog上の燃費は1リットルで35.5kmなので、1km走るのに3.4円のガソリンで足りる。アイミーブは、昼間の家庭用電気で充電しても1km2.5円でプリウスより3割くらい燃費が良くなります。深夜電力ですと約3分の1なので、1kmで0.8円。カローラの8分の1、プリウスと比較しても4分の1程度と、大変安くなります。これらはCatalogの数字で実際と違いますが、電気自動車の燃費の良

さが分かると思います。

アイミーブの仕組み

動力源はリチウムイオン電池です。リチウムイオン電池は1990年、ソニーが初めて実用化し携帯電話やノートパソコンなどに使われ急速に普及しています。アイミーブは4個または8個の電池セルを直列接続した電池モジュールをつなぎ、計88セル直列構成の大容量駆動用としています。これを車体床下中央に配置、低重心による優れた操縦安定性も実現しました。

一般の蓄電池でまず、鉛蓄電池は一般の自動車のバッテリーに使われコストが安いのですが、容積が大きく重いのが欠点で、電気自動車に向いていません。次に、トヨタのプリウスやホンダのインサイトなどハイブリッド車に使われているニッケル水素電池です。リチウムイオン電池より安価ですが重いのが欠点です。電気自動車ほど大量の電池が必要ではないハイブリッド車に使われますが、電気自動車には向きません。リチウムイオン電池は小さくて軽く、皆さんの携帯電話やノートパソコンなどに使われ、この特長からアイミーブにも使われていますが、欠点は他の電池より値段が高いことです。

車の心臓部のモーターは、最高出力64馬力です。軽自動車は最高出力が64馬力に規制されているためです。軽自動車として十分ですが、一般の自動車と比べ大分見劣りします。

ただ、注目すべきは最大トルク。180N・mという数字はガソリンエンジンだと1800~2000ccのエンジンと同程度。しかもこの最大トルクが0回転から2000回転で発生、つまり発進時の低速域でトルクが非常に大きいのです。従って発進時は、軽自動車の域を超え、非常に鋭い加速をします。これぞまさしくモーターを利用した電気自動車の大きな特徴と言えるでしょう。また、このように低速域でも非常に高いトルクを得られるので、ガソリン車で必要な複雑な変速装置



パワーポイントで説明

(トランスミッション) が必要ないのも、電気自動車の特徴です。

減速時や下り坂などは、モーターが発電機となって電気を生み出しバッテリーに充電する回生ブレーキの仕組みがあります。普通のブレーキなら熱となって放出されるエネルギーを、電気にしてバッテリーに充電できますので、燃費向上に役立ちます。余談ですが、プリウスが日本やアメリカなどで大量リコールとなったのは、アンチロックブレーキと回生ブレーキを調整するコンピュータープログラムに不具合があったのが原因だそうです。



古谷会員も画面に釘付け

走行距離

満タンに充電した時、メーカーは160kmと発表していますが、ガソリン車のカタログ燃費と同じ10・15モード走行の燃費ですので、実際に道路上での走行距離は、これより下がります。北海道電力で使ってきた人に聞くと大体100km前後だそうです。冬は暖房にエネルギーを使うため50~60kmくらいまで大きく落ち込みます。ガソリン車はエンジンの排熱を利用するのですが、電気自動車は、モーターの効率が良いので熱をあまり発生しないので、暖房はバッテリーの電気で熱を発生させる必要があります。走行距離が大きく下がります。

気になるお値段

昨年7月に法人向けの売り出しが始まった時は459万9千円でした。国からの補助金が139万円出たので、実質は320万円。今年4月からはいよいよ個人向けに売り出すので、メーカーは値下げを考えているそうですが、平成22年度予算次第では、国の補助金も下がりそうです。メーカーは補助金が下がってもそれ以上の値下げとの意向です。また、メーカーは、2014年までに補助金を差し引いた実質価格を200万円台前半にしたいようです。電気自動車の価格は電池の価格次第ですので、今後の電池コスト削

減がどの程度かで、大きく左右されます。

今後の本格的普及は

電気自動車はこれまで、何度かブームになってきましたが、いずれも短期間でした。私の独断ですが・・・

地球温暖化問題への対応、石油など化石エネルギーの将来的な不足を背景に、今回は本格的普及につながると予想します。ただし、リチウムイオン電池の性能が向上しても、1回の充電による走行距離が160kmから大幅に伸びると期待できず、近距離での営業、配送、通勤などに限られると思います。こうした用途の自動車は将来的に徐々に電気自動車に置き換えられると思います。現在のガソリン車のように長距離を走れる電気自動車は、リチウムイオン電池の性能を超える新たな電池の開発が必要です。少なくとも10~20年以上かかる長期的な課題です。普及のスピードを左右する電気自動車の価格低減は、リチウムイオン電池製造コストの低減がカギで、日本だけでなく世界の様々なメーカーが競って研究開発していますので、年々コスト低減が進むのはほぼ間違いありません。一方、原料のリチウムはチリやアルゼンチンなど南米中心で産出され、日本で産出されません。既にリチウム調達を巡り世界中で争奪戦が始まり、2004年ころ1kg当たり100円だったリチウム価格が、2009年に500円程度まで値上がりしています。電気自動車の普及は、リチウムをどれだけ安く調達できるかにもかかっています。



説明に興味津々

電気自動車を生産するメーカーの動向も予測してみます。ガソリンエンジン車は、トヨタのリコール問題はあるものの日本メーカーの品質、性能は世界最高レベルといえます。ガソリンエンジン車よりさらに複雑なハイブリッド車に関する技術は、トヨタやホンダなど日

本メーカーが明らかに海外メーカーを上回っています。日本メーカーの優位性が電気自動車の時代にも保てるか。私はあまり楽観視していません。米国のベンチャー企業や韓国、中国などの新興企業が電気自動車の開発、販売に乗り出しています。まだ日本の電気自動車と比べ非常に高価だったり、性能が悪かったりしますが、今後の技術開発次第ですぐ日本のレベルに追いつく可能性があります。電気自動車はガソリン車と比べエンジンやトランスミッションがいらず、構造が単純だからです。日本の自動車メーカーが世界に冠たる存在なのは、エンジンやトランスミッションを開発する能力を持っているからですが、電気自動車となると、そんな技術が不要です。今後の電気自動車の時代、中国などのメーカーが台頭する可能性は十分あります。

以上で電気自動車の紹介を終わります。

2009～2010年度「第2回炉辺談話」を開催



2月18日（木）18時30分から「豊輪」で、ロータリー情報委員会主催の本年度「第2回炉辺談話」を開催しました。敦賀秀生、菅原正行両新会員を迎え、アドバイザーとして佐藤秀雄パストガバナー、中村堅次パスト会長、岩崎暉久会長、佐々木金治郎会長エレクトにロータリー情報委員会の福田武男委員長はじめ、各委員ら11名が出席しました。

佐藤パストガバナーからは、「ロータリーの現状」について、中村パスト会長は「ロータリーでの経験は財産」とアドバイスがありました。続いて、敦賀会員から「ロータリー活動を通じて地域に密着した企業として頑張りたい」、菅原会員は「父が愛したロータリークラブに入ることができ感慨深いものを感じている。二代目会員として大いに学び、頑張りたい」と抱負を述べていました。

その後、フリートークになり、「会員の例会出席とは何か」について経験談が披露され、その後「ロータリーに対する考え方」「会員増強のために活動」など、いろいろな意見が出され、激論を交わす場面もあり「第2回炉辺談話」は大いに盛り上がりました。次回、「第3回炉辺談話」の5月中開催を約束しました。

（文責：酒井 宏）

プロバスクラブが第21回例会



2月9日にリアンで開かれました。千歳RCからプロバスクラブ委員会の山田睦雄委員長と中村堅次委員が出席しました。

卓話、副幹事を務めている守田勝榮・千歳市人権擁護委員による「人権擁護委員の活動について」。同委員の制度や役割、近況などを説明した後、千歳市人権擁護委員は7人いて、任期3年など概要を解説。具体的活動として小中学生向けに「子ども人権110番」や「中学生人権作文コンクール」「人権の花運動」「人権教室（出前授業）」など、市民対象に「女性の人権ホットライン」「人権相談」「人権週間の啓発活動」などを展開。常設相談所の周知や人権侵犯事件への対応などの活動内容を紹介しました。

卓話の後、千歳RCの山田委員長のあいさつと乾杯の発声で会食しました。



また、会員に「人生年表」の資料を回覧。北九州プロバスクラブが作成し、全日本プロバスクラブ協議会が全国のプロバスクラブに配布

しているもので、プロビアンは今後10年の人生に向け、これまでを振り返るもので、「自分史」の材料にもなるということです。プロビアンとしての新しい人生を、上を向いて歩くのが目的としています。(齊藤 武司幹事)

3月に誕生日を迎える奥様

4日 山田 睦雄会員の奥様 恵美子 様
22日 玉山 敬史会員の奥様 ひろみ 様
27日 曙 恒平会員の奥様 雅子 様
28日 今村 静男会員の奥様 恵子 様
おめでとうございます!

ニコニコBOX

佐々木 金治郎 会員

第32回千歳・支笏湖水濤まつりに、昨年より3万人多い21万人の来場をいただきました。ありがとうございました。

村上 倫行 会員

環境保全委員会の卓話、ご清聴いただきありがとうございました。息子も2月13日に昭和基地を離れ、順調な航海のようです。

沼田 常好 会員

2月11日のホルメンコーレンマーチ(歩くスキー大会)で、スキー連盟会長として5キロのスターターをやらせていただきました。

菅原 正行 会員

妻の誕生日にお花をいただき、ありがとうございました。

大澤 雅松 会員

バンクーバー冬季五輪、千歳民報は特別紙面

編集後記

今回は、電気自動車に関する分かりやすい卓話と試乗会、それに炉辺談話の様子、プロバスクラブの例会、さらに3月生まれのお奥様のお知らせと、盛りだくさんの内容になりました。

テレビからバンクーバー五輪の日本勢の活躍や期待など中継や特集番組の音声が行き渡るのを聞きながらの編集作業ですが、さて25日の例会時にはどんなことになっているでしょう。頑張れニッポン、頑張れ(千歳育ちのスピードスケート)穂積! 真央ちゃん(フィギュア)とクリスタルジャパン(カーリング女子)にもつつい期待してしまいます。カナダで頑張る日本代表の姿に元気をもらって、年度末の諸作業に当たりたいと思います。天候や気温が不安定なので、体調にも気を付けてまいりましょう。(大澤)

千歳ロータリークラブ

事務所 千歳市北栄2丁目2番1号 ANAクラウンプラザホテル千歳 TEL.23-4470 FAX.23-4600

事務局 月・水・木曜日 10:00~14:00 ホームページ:www.phoenix-c.or.jp/~c-rotary/

例会日 木曜日 12:30~13:30 第3木曜日 18:30~ e-mail:c-rotary@phoenix-c.or.jp

クラブ会報・広報・雑誌・IC委員会

◎沼田 常好 ○大澤 雅松 尾崎伊智朗 齊藤 公彦 村上 倫行

印刷 千歳印刷株式会社 千歳市錦町3丁目3番地 TEL.23-2229 FAX.23-2724

でお届けしています。お楽しみください。

ニコニコ紹介

親睦活動委員会

副委員長 玉山 敬史



電気自動車試乗会スナップ



尾崎会員がドライバー席でスタンバイ

村上会員が助手席から乗車



宮本会員と菅原会員も乗り心地を実感

これが電気自動車の運転席です

